

コロナ禍でも60億円基金増加

一般会計51億

昨年度決算

決算で昨年1年間の市の基金の増加が明らかになりました。下表にあるように、一般会計の基金が51億4900万円も増えています。

特に財政調整基金14億円(市の貯金、自由に使えるお金)、減債基金12億円(借金返済に充てるために準備基金)、都市環境整備基金26億円(駅前開発など公共事業に活用)の3基金で、52億円増やしました。さらに、介護保険や国保などの特別会計の基金も、9億5千万円増えています。60億円は市民1人当たり2万8千円です。市や国の税収が増え、追加の普通交付税も来たけれど、コロナ対策は国の交付金頼りです。追加で来た経済対策名目の臨時交付金すら使い切らずに、結局、コロナ対策に市財政からの持ち出しはありませんでした。

健全な財政力は市民生活支援に
伊勢崎市の財政は、県内トップクラスの健全度合いです。貯めこむだけでなく、健全な財政力は市民のために活用してこそ生きるのです。

一般会計の基金 21年度末残高及び前年度末との増減

基金名	2021年度末(円)	1年間の増(円)
財政調整基金	5,536,624,311	1,400,248,242
減債基金	35,920,306	1,215,022,419
都市環境整備基金	340,856,576	2,610,559,419
その他基金合計	4,049,473,269	▼76,742,723
合計	9,962,874,462	5,149,087,357

はないでしょうか？

不登校対策 待ったなし

不登校が以前から多かったのですが、コロナ禍で生活リズムが乱れたためかいつそう増えました。

中学生は5・81%。特に新型コロナウイルスで学校が3ヶ月休業になった年に小学6年生だった中学2年生は6・8%でした。しかし、市は特に新しい手立ても取らないままです。

旧市町村ごとに不登校の子が通える「ほつとるーむ」があります。送迎が必要な場合が多く通える子は減り続けています。

どの子にも成長を保障し進路を切り拓く力も付けられるよう、学校内外への子どもの居場所作り、フリースクールなどへの支援等が求められています。

後期高齢者医療2割負担になった方は負担軽減措置(3年間)の申請を11月中旬に

後期高齢者には10月からの新しい保険証が届き、一定以上の所得のある人(単身で年収200万円以上、夫婦で320万円以上)の人は医療費が2倍になりました。保険証と一緒に届いた申請書を出す、3年間は1ヶ月の負担増加額を3千円までにできます。送付は11月末までとされています。高額療養費の払い戻し手続きをしている人は、口座の登録がされているので申請不要です。申請書が見当たらない人、自分がどちらか分からない人は年金医療課に聞いてください(27・2739)。申請書が無い人には、再発行してくれます。

一般質問から

きめ細かな物価高騰対策を!!

◆子どもの貧困対策は、物価高騰によりますます重要になっています。子ども食堂や、食糧支援に対し多くの自治体が直接・間接に支援しています。「ボランティア団体の意見を聞く機会を設ける」と1年たってもまだその段階で具体的になりません。
◆学校・保育所の給食食材費高騰分の支援が実現しました。一方、1食220円の年間契約で業者から購入している伊勢崎地区の公立幼稚園は「値上げの要請は来ている、基準の栄養価は満たしている」と言います。人件費・光熱費込みの値

段ですから、質の低下が心配です。値上げの申し入れがあれば、直ちに検討するという答弁がありました。赤堀・あずま地区の公立幼稚園は学校給食センターからの配食で、食材費230円の給食です。同様の対応を求めました。
◆肥料が1年で5割以上の値上げです。露地野菜や、米・麦作農家への支援は耕作放棄地を作らないためにも重要です。国・県の支援策が明らかになり次第、燃油や飼料に続いて肥料についても市の価格高騰対策を考えると答弁がありました。

隣保館を人権センターに

市立隣保館は耐震診断が実施されず、エレベーターもない施設です。建て替えに合わせ同和対策に特化した名称を変更し、「人権尊重都市にふさわしい総合的な人権行政の核になる施設に」と、充実を求めました。

成年後見制度の促進を

身寄りの少ない高齢者が増える中、判断能力が不十分なため契約等の法律行為を行えない人に後見人をつける成年後見制度の充実が求められます。講習を受けた一般市民が後見人となる市民後見制度は費用負担も少なく、市民後見人の育成が重要課題です。県内20市町村で策定済みの利用促進計画、伊勢崎市は2年後に策定予定と大変遅れています。積極的な取り組みを求めました。

高齢者の入浴施設

老人いこいの家を今年度で廃止する計画が出され、7月に説明会が持たれました。前市長が5年間は存続させると約束し耐震設計までしたのに、「市長が変わ

ったから」と廃止するのは「約束違反」と、発言者全員が存続を求めました。

しかし市長「意見は今後の政策に生かす」と聞く耳なしの姿勢でした。車に乗れない人で、他のお風呂に行きたい人はタクシー券の活用を(往復6枚使ったら4回分だけ)をとつれない答弁です。

非核平和宣言都市 伊勢崎

伊勢崎市は戦争と核兵器のない世界をと核兵器廃絶平和都市宣言をしています。7月17日、核兵器廃絶を訴えて伊勢崎から桐生まで平和行進が行われました。臂市長・新藤議長から激励を受けて、北島・長谷田両市議も行進しました。

長谷田 北島



激励に訪れた市長・議長と